

1.研修プログラムの名称

脳神経内科研修プログラム

2.研修概要（理念・特徴）

神経学分野は2013年7月に講座として開講した。当科の診療体制として、入院は13B階西病棟でベッド数22床を有しており、外来は午前2診・午後1診体制として、一般脳神経内科外来および各種専門外来を開いている。2019年（2019年1月1日～12月31日）の診療実績は、新規入院患者数323人、初診外来患者数644人、再診外来患者数12346人であった。高齢化社会を迎えた日本において神経系に障害を持つ患者は急増しており、一般臨床においても神経疾患を扱う機会は急速に増大している。特に脳血管障害、神経感染症、機能性疾患（頭痛、てんかん）などは、一般外来診療でも遭遇する機会が多く、将来、どの専門分野を専攻するにあたって、脳神経内科での臨床診療体験は有用であると考えられる。本研修では、実際に外来・入院患者の診療に携わることにより、診断に至るプロセス、検査手技、治療法に対する理解を深め、今後の診療技術の向上に貢献することを目的とする。

3.一般目標

神経疾患に伴う症状から病歴を明らかにし、一般理学的診察と神経診察から、検査計画を立案し、正しい診断、適切な治療を選択する臨床能力を身につけることを目標とする。脳血管障害、神経変性疾患（パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症など）、神経感染症（髄膜炎、脳炎など）、神経免疫疾患（多発性硬化症、重症筋無力症など）、末梢神経障害（ギランバレー症候群など）ほか、を中心に担当医となり、上級医の指導のもとグループ診療を行う。

4.具体的目標

1) 経験すべき診察法・検査・手技

1. 神経学的診察ができ、記載できる
2. 髄液検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる
3. 単純X線検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる
4. X線CT検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる
5. MRI検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる
6. 核医学検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる
7. 神経生理学的検査（脳波・筋電図など）の適応が判断でき、結果の解釈ができる
8. 穿刺法（腰椎）を実施できる
9. 局所麻酔法を実施できる

2) 経験すべき症状・病態・疾患

1. 頭痛を診察し治療に参加できる
2. めまいを診察し治療に参加できる
3. 失神を診察し治療に参加できる
4. けいれん発作を診察し治療に参加できる
5. 視力障害、視野狭窄を診察し治療に参加できる
6. 歩行障害を診察し治療に参加できる
7. 四肢のしびれを診察し治療に参加できる
8. 意識障害について初期治療に参加できる
9. 脳血管障害について初期治療に参加できる
10. 脳・脊髄血管障害（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血）を診察し、治療に参加できる
11. 認知症性疾患を診察し、治療に参加できる
12. 変性疾患（パーキンソン病）を診察し、治療に参加できる

13. 脳炎・髄膜炎を診察し、治療に参加できる

14. 認知症（血管性認知症を含む）を診察し、治療に参加できる

3) 全科共通項目

1. 診療録（退院サマリーを含む）を POS に従って記載し管理できる

2. 処方箋、指示箋を作成し管理できる

3. 診断書、死体検案書、紹介状、その他の証明書を作成し管理できる

4. 保健・医療・福祉の各側面に配慮しつつ診療計画を作成できる

5.指導体制・方略

指導医、医員、臨床研修医から構成される診療グループに配属され、上級医の指導のもと、診察、検査、診断、治療計画の立案と実施を行うとともに入院患者プレゼンテーションなどを通じて、神経疾患の病態や治療についての理解を深める。また脳神経内科専門医によるレクチャーを適宜行っている。さらに脳卒中関連科合同カンファレンスやリハビリテーション科合同カンファレンスなどへの参加が可能である。

6.週間予定表

	月	火	水	木	金	土
午前	8:00～ 病棟カンファ レンス 8:15～抄読会 8:30～ 病棟業務	8:15～ 症例検討会 9:30～ 教授回診	8:15～ 病棟カンファ レンス 8:30～ 病棟業務	8:15～ 病棟カンファ レンス 8:30～ 病棟業務	8:10～ 脳卒中カンフ ァレンス（関連 科合同） 9:00～ 病棟業務	9:00～ 病棟業務
午後	13:00～ 病棟業務	16:30～ 医局勉強会 14:00～ 神経生理検査 （毎月第3）	13:00～ 病棟業務	13:00～ 病棟業務	13:00～ 病棟業務	

7.研修活動

8.評価

1) 自己評価

患者記録表、教育的行事の参加記録並びに経験記録表に記録する

EPOC を用いて自己評価を行う

研修事後レポートを用いて自己評価を行う

2) 指導医による評価

EPOC を用いて評価する

研修事後レポートより評価する

他者評価表を用いて評価する

研修終了時に試験を行い、振り返りをおこなう

3) コメディカルによる評価

EPOC 又は評価表を用いて評価する

他者評価表を用いて評価する

4) 研修医による評価

EPOC を用いて指導医（上級医）、診療科・病棟、研修医療機関、プログラムを評価する
評価表を用いて指導医並びにコメディカルを評価する

9.その他特記事項

当科は、神経内科関連学会での発表や、他大学合同の症例検討研究会を活発に行っている。研修医の希望があれば、それらの研究会で研究発表を行い、さらに論文として出版することに最大限の援助をする。